

▶市民ホールに展示している  
緊急時モニタリングポスト



## 緊急時モニタリングポストを展示しています

空気中の放射線量を測定中

平成23年3月の福島第一原子力発電所事故をふまえ、全国の放射能水準調査体制が強化され、佐賀県において空間放射線量率（空気中の単位時間当たりの放射線量）を測定するモニタリングポストが新たに5基設置され、産業技術学院（多久町）にも新設されました。平成24年4月から、6基の環境放射能水準調査用モニタリングポストで県内を広域的に常時測定し、測

定結果は文部科学省ホームページで公表されています。

また玄海原子力発電所事故など、緊急時に測定するための緊急時モニタリングポストが、県から全市町に導入されました。緊急時には所定の場所に配置し、空気中に含まれる放射線の量を測定することになります。市ではしばらくの間、緊急時モニタリングポストを市役所1階市民ホールに展示していますので、ご覧ください。

## 歯科医師が、緑が丘小で磨き方を指導

### 第31回 歯を守る会

6月7日に緑が丘小で小城・多久歯科医師会による「歯を守る会」が開かれました。これは歯の衛生週間（6月4～10日）に合わせ、虫歯にならないための講話と歯の磨き方の指導をしているもので、当日は歯科医師18人、歯科衛生士39人が全クラスに分かれて指導しました。

3年1組では、木下務先生が虫歯菌のミュータンス菌をビデオで紹介し、「どうして虫歯になるのか」を分かりやすく説明。適切な歯磨き粉の量や歯ブラシの大きさを教え、1本1本順番を決めてきれいに磨いてと指導しました。その後歯垢染色剤を使って、赤くなった歯を鏡で見ながらスケッチ。どの歯がきちんと磨けていないかを確認しながら、赤く染まった歯がないか一生懸命ブラッシングをしました。高木瑚桃さんは、「虫歯の理由や正しい歯磨き方がわかり勉強になりました」と話しました。



▲「おやつには、こんなにお砂糖が入っているんだよ」と話す木下先生

## 「認知症サポーター」養成講座

5/30

佐賀大学の堀川悦夫教授を講師に迎え、認知症の基礎知識や対応の仕方・サポーターの役割について学ぶ「認知症サポーター」養成講座が、市職員を対象に開かれました。



修了者には、「認知症サポーター」のシンボルである「オレンジリング」を授与。サポーターは、認知症について正しい知識をもち、だれもが暮らしやすい地域づくりに役立っています。多久市には6人の講師がいます。この養成講座の開催を希望する方は、福祉課まで相談ください。

## 東部小5年生がひまわりの種まきと苗植え

5/24

東部小5年生37人が、東多久駅の「ふれあい花壇」と駅ホーム周辺で、JR九州OB会佐賀支部の渋谷初寛さん、柴田洋昭さんの指導のもと、ひまわりの種まきと苗植えを行いました。児童は5つの班に分かれて、ふれあい花壇では種まき、ホーム内の花壇では苗植えをしました。



参加した児童たちは「種まきや水やりなど大変だった」、「きつかったけどみんなと一緒に作業して楽しかったです」と充実した表情でした。